国民年金コーナー

現況届は忘れずに提出しましょう

新潟県で、国民年金の老令年金（通算老令年金を含む）を受けている人は、11万人にも達しました。

この老令年金の支払いは、3・6・9・11月の年4回（通算老令年金は6・12月の年2回）の各支払い月に行われ、その支払い月になると、社会保険庁から受給者のみなさんが希望した金融機関へ自動的に送金されてきます。

ところで、社会保険庁では、引き続いて年金を支払いするためには受給者のみなさんの生存を確認する必要があります。

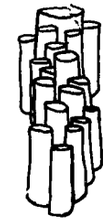
現況届とは、この確認を行うために年一回、受給者のみなさんから提出していただくもので、今回は昭和51年2月15日以前から老令年金または通算老令年金を受けている人たちが提出しなければなりません。

現況届の用紙（ハガキ）は、1月15日ごろまでに社会保険庁から受給者のみなさんに直接お送りしますので、その用紙にあなたの住所、氏名を記入し（押印を忘れずに）、あなたの市町村長の証明をうけて2月15日までに確実に社会保険庁業務課に提出してください。

現況届が提出されないときは、以後引き続いて年金を支払ってよいかどうかの判断がつきませんので、現況届が提出されるまでの間年金の支払いを一時差し止められることになりますのでご注意ください。

また、用紙が届かない場合には、最寄りの社会保険事務所に備えてありますのでご利用ください。

くわしくは年金係に相談して下さい。



成人と国民年金

二十歳になると、その日から一人前の大人として多くの権利が与えられ、義務が課せられますが、国民年金に加入することもそのひとつです。

わが国では、だれもが必ずいずれかの年金制度に加入する「国民皆年金」の仕組がとられており、厚生年金や各種共済組合などの加入者、その制度から年金を受けることができる人、これらの配偶者、あるいは昼間部の学生などを除いた二十歳から五九歳までの人は必ず国民年金に加入しなければなりません。

したがって会社や工場あるいは官庁などに勤めていない二十歳を迎えたあなたは、大人の仲間入りの〝証〟として、まず国民年金に加入することになります。国民年金に加入しますと、老後の所得保障としての老令年金ばかりでなく、障害年金や母子年金などまさかのときの保障も行われます。

また国民年金に加入してから会社や工場などに就職することもあるでしょう。

そのようなときでも国民年金や厚生年金など、移りわたったいくつかの制度をつなぎ合わせて年金を支給する「通算年金」の仕組みもとられています。

ところで国民年金というのは、他の公的年金制度がそうであるように、だれにも訪れる老後を社会全体で支えていこうというものですから、若いみなさんの理解と協力がなければ制度は成り立っていきません。若い人にとって老後ははるかに遠い未来のことでしょう。しかし、家族に両親やお年寄りはおられないでしょうか。

それらの人の老後の生活、扶養の問題などを考え合わせれば、若いみなさんにも老後や年金が身近なものとして理解していただけると思います。

二十歳を迎えた記念すべき日に年金手帳（国民年金に加入した証）を前にして、将来の生活設計を考えてみることも意義あることではないでしょうか……。

春季農耕用軽油免税証の交付についてお知らせ

例年のとおり、巻財務事務所では、農業用耕うん機に使用する軽油の免税証を次の日に交付しますので、お知らせします。

記

一、**免税証の交付日程**

(一) 共同申請は、農業協同組合及び軽油販売業者でとりまとめて、昭和52年1月14日までに申請することになっております。

(二) 月潟村への出張交付の日は、次のとおりです。

ア 日時
昭和52年2月15日
午前10時から12時まで
午後1時から3時まで

イ 場所
月潟村役場二階会議室

(三) 巻財務事務所交付は、昭和52年3月5日から4月30日までの毎週土曜日午前9時から午前11時30分まで行います。

二、**免税申請当日持参するもの**

(一) 新規申請の人
ア 村長の発行する機械、耕作面積証明書
イ 印かん

(二) すでに使用者証の交付を受けている人
ア 免税軽油使用者証
イ 機械証明書（使用機械に変更がなくとも必要）
ウ 耕作証明証（共同使用者証の場合は各人の証明）
エ 印かん

(三) 耕作委託を受ける場合
耕作の委託を受ける者は、委託者の耕作証明書と委託者を承諾した書類が必要です。
それで、委託者の印かんを借りて持参ください。

村税等の口座振替の申込みを、おすすめしましたところ多数の申込みをいただきました。

この制度は、納税者の便宜を考えて昭和52年4月から実施するものです。

便利な制度で ありますので、税金だけでなく電気料、テレビ聴視料、電話料等の生活費が実施されており、年々増えております。

先般配付した『預貯金口座振替依頼書』を役場税務課へ提出して申込みすれば、村税等があなたの予金口座から自動的に納付されますので、納付の手数もいりません。納付を忘れることもありません。

口座振替を申し込みましょう

予金から納付された村税等の領収書は、役場からあなたのお手許へお届けします。申込用紙をなくされた方は、役場で差し上げます。

不明な点があれば、どんなことでも税務課へ問合せください。

五十一年度 検診結果まとまる

その一 〈総合検診〉

——血圧精密検診者の九割に所見あり——

高血圧、心臓病、糖尿病等の成人病、又貧血、結核などは私達が気がつかないうちに徐々に進行しある日突然のように私達を脅かす病気です。一家の柱、働き盛りの主人が倒れ、それまでのしあわせな生活が一夜で不幸のどん底へという危険をはらんでいます。この成人病は本人及びその家族が怠りなく注意を払えば、それを防ぐことができます。

そのためには毎日の生活への注意が必要ですが、同時に、一人一人が年一回以上の検診を受け、自分の健康を確認するよう心がけることがどうしても必要です。

血圧検診

検診対象者千九百九十六人のうち血圧検診を受けた人は、村全体で三十八%、男性三十三%、女性四十二%という結果でした。全体的に受診率が低く、特に男性そして三十代、四十代の人の受診の低さが目立ちます。

高血圧は、ほうっておくと脳卒中、心臓病、腎臓病などをも引き起こします。村でも毎年死亡者の約半数、十人くらいの人が脳卒中で亡くなっています。また新しく発作を起こす人も五～六人くらいいます。卒中の為に体が不自由になったり、寝たきりや寝たり起きたりの生活をしている人も少なくありません。

血圧は常に変動していますから年に一回以上の測定が必要です。自分の血圧を知り、高血圧に注意しましょう。

貧血検査

今回の検査では、十六人の人が貧血と診断されました。女性の若さ、美しさは健康な体からといわれています。「貧血くらい…」と油断していては大変。老化を早めることにもつながります。

特に若い女性、妊婦の貧血は、流産、早産、未熟児の出産などの影響がでますので注意しましょう。バランスのよい食事で、若さと美しさを保ちましょう。

結核検診（レントゲン）

医学がめざましく発達した現代でも、毎年新しい結核患者がでています。時代が変わってもやはり結核は伝染病です。まだまだ安心できません。

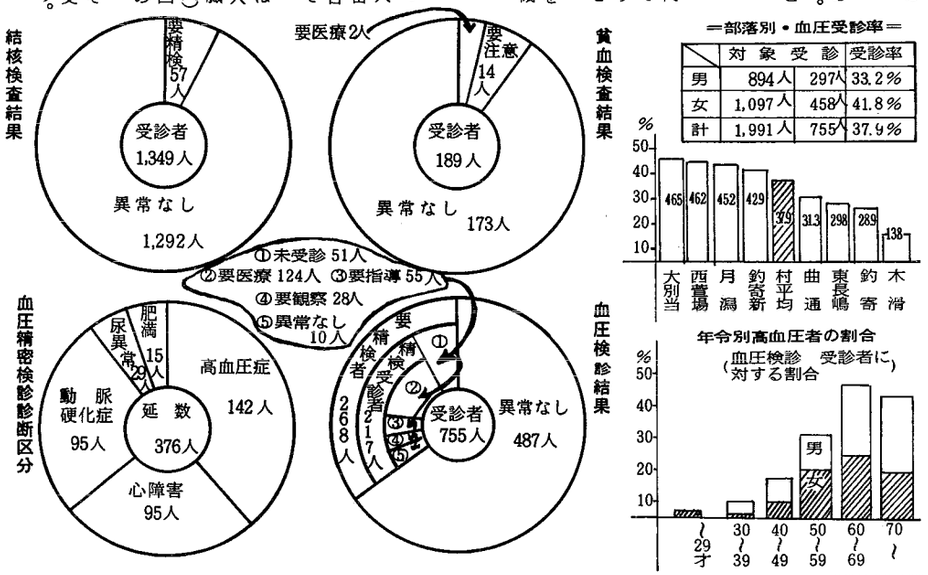
結核予防は何といっても検診を受けることが第一です。検診の機会には忘れずに受けましょう。

精密検診（心電図 眼底写真）

血圧検診の結果、血圧の高かった人、尿にタンパクや糖の出た人既応症や自覚症状のある人で精密検診の対象となった人は、約二百七十人で若い人もかなり含まれています。

その結果、全く心配のない人はわずか十人でした。ほとんどの人は、高血圧（百二十四人）や心臓・動脈硬化症（どちらも九十五人）と診断されました。三十代から四十代の血圧検診受診者の約十%の人が高血圧症にかかっています。

医療の必要な人はもちろん、その他の人も定期的に血圧測定を受け、常に病気に気をつけましょう。



◎次回はその他各種検診結果です。